

J R 琴似駅の変遷



(札幌市写真ライブラリー提供)



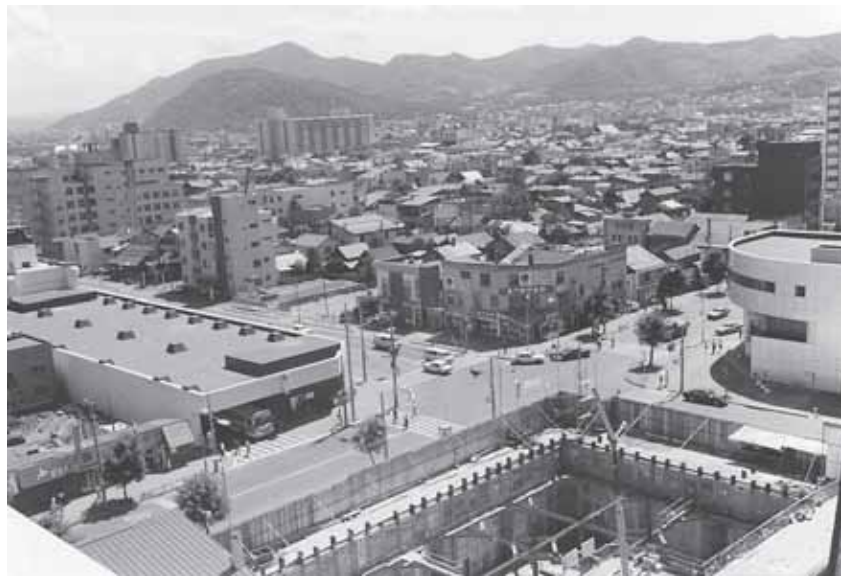
▲ (左上) 昭和47年、国鉄(現J R) 琴似駅横の踏切。(右上) 踏切があった場所の現在の様子。
 (中央) 昭和61年、鉄道の高架工事。
 (左下) 昭和54年、国鉄琴似駅の光景。(右下) 大きく変ぼうを遂げた、現在のJ R 琴似駅前広場。



写



▲昭和48年、地下鉄東西線の建設工事。昭和51年6月に、琴似～白石間が開通した。



▲昭和51年、ダイエー琴似店の建設工事(右下部分)。現在と比べると、まだ高いビル数は少なかった。



▲平成10年、宮の沢バスターミナルの建設工事。平成12年には、近隣に生涯学習総合センター(ちえりあ)が開設されている。



▲(左) 昭和48年、農試公園入り口付近の道路工事。まだ道路沿いの街路樹はなく、遠くの間々まで見通せる。(右) 現在の様子。